

Peace Quest 2009 Autumn-Winter 記録写真

一般社団法人 SPUTNIK INTERNATIONAL



理事挨拶 [小谷淳子]

理事挨拶 [小谷淳子]

エサラ・ウィーラコーン代理大使
ご挨拶



ル ヴェルヴェッツ



ブルームカルテット &
アンサンブル



オークション



オークション



XQ's



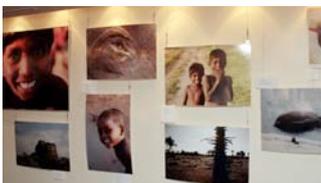
XQ's



"HEAL THE WORLD"



"HEAL THE WORLD"



平松利枝子様作品



販売ブース



販売ブース



販売ブース



販売ブース



販売ブース

Peace Quest 2009 Autumn-Winter ~Love for All, All for Love~

実施報告書

Jan.2010

一般社団法人SPUTNIK INTERNATIONAL

◆ご挨拶

この度は、皆様のご協力のおかげで、「PEACE QUEST 2009 Autumn-Winter」を大成功させることができました。

概要を下記に記し、報告とさせていただきます。

まだまだ至らない点多々ございますが、今後ともご指導、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆目的

今年は、『愛は皆のために、私たちの活動の全ては愛のために』の気持ちをこめて、『Love for all All for Love!』というコンセプトを掲げました。SPUTNIKの様々な活動に対して、常日頃から皆様からは多大なる『愛』をいただき、私どもも頑張ってきました。私達は、その皆様からいただいた『愛』、我々の気持ちの中に熱く燃える『愛』をより多くの人々に届けるために汗をかこう！ということで、2009年はこのテーマの下、活動してきました。

『愛』はみんなの為に……。私達の活動はコンサートに来てくださるお客様にも、この『愛』を感じていただけるような演出をしようと、スタッフ一同、力を合わせて頑張りました。イベントの最後は、マイケル・ジャクソンの「Heal the World」を皆で大合唱しました。この歌のメッセージにあるように、私達の心の持ちようですべての人々にとって地球はもっといいところになる。昨日よりもちょっといい今日、今日よりもちょっといい明日を作るために、「今」を精一杯生きていきたい。その思いを会場の皆様と共有できたと思っております。

イベントでは2009年の活動の報告、スリランカをよりよく知ってもらうための展示などを行うとともに、ステージでは、年末の忙しさの中で「暖かい感動」を感じてもらえる演出をこころがけ、すっかりおなじみになった社会貢献バンド、「XQ's」の皆さんに全体を盛り上げてもらいました。来場して下さった皆様からは、一緒に「感動しました」「暖かい気持ちになりました」という感謝の言葉がとどきました。これもひとえに、私達にチャリティーコンサートを開くチャンスを下さった皆様のおかげであります。本当にありがとうございました。

- ・ 今回得られた収益は、SPUTNIK International Sri-Lanka国際教育文化交流会館維持
- ・ 2009年度の常駐日本語教師支援
- ・ SPUTNIK シニアセンター維持
- ・ (財)エイエス日本協会様と共同で行っているスリランカ高校生の日本への1年間留学支援
- ・ スリランカ、クルネガラにある高校に通う生活困難家庭の優秀な生徒への奨学金 (20名)
- ・ SPUTNIK Girls Homeの孤児達の支援
- ・ その他、スリランカでの活動で必要と思われる事案

に対し使われます。

SPUTNIK International Japan, Sri-Lanka, Ghana. 我々の地道な活動は必ず世界平和への道であると信じております。

◆実施概要

主催：一般社団法人SPUTNIK INTERNATIONAL

後援：スリランカ大使館/スリランカ航空/エイ・エフ・エス日本協会/日本青年会議所/人間力開発協会[順不同]

特別協力：原宿クエストホール

協賛：生活の木/ジンテック/ドクターシーラボ/シーズ・メディカル/ATOMIC 投資委託/ホームスト/
コールドウエルバンカージャパン/グランドデザイン&カンパニー/ビームス/麻布サイコ&カウンセリングクリニック/
ユーエムイー/英治出版/三番町トラスト/MEG/クワインターナショナル/ナレッジパーク/西日本陶器/板蔵

[順不同]

協力: ベーカリーカフェ632原宿/PaperBlanks/フォトジャーナリスト平松利枝子/ディヤダハラ
日時: 2009年12月26日(土) 開場13:30 開演14:00
会場: 原宿クエストホール[東京都渋谷区神宮前1-13-14]
会費: 一般2,500(前売2,000)円、在日ガーナ人及び学生1,500(前売1,000)円
入場者数: 約280名

プログラム:

司会進行 アイリ・アブド・ハル(在日スリランカ人)
14:00~14:10 開会挨拶・大使挨拶・活動報告
14:10~14:30 Le Velvets
14:35~14:50 Bloom Quartet & Ensemble
14:50~15:05 休憩
15:05~15:30 オークション
15:30~16:20 コンサート[XQ'S]

◆出演者プロフィール

XQ's

XQ'sが生まれたのは2007年春のこと。その年の12月以来、半年ごとの定例ライブで原宿・クエストホール(定員300人以上)を満員にし続け、世間のごく一部を「アツ」と言わせた。もっとも、いつも満員というのには理由がある。もともとスリランカやガーナへの教育支援を目的にしたNGO「スプートニク」の年2回のイベント「PEACE QUEST」が舞台であること、主催者であるTBSの秋沢淳子アナ、原宿表参道禪会の青木信之氏、そしてXQ'sのギタリストSHIGEを中心に、集客体制がすでにできあがっていたことが挙げられる。

XQ'sの名前の由来は、英語のexcuse、つまり「言い訳」である。20年ぶりにギターを持って指が痛いのだ、税務署の立ち入りで練習が遅れたのだ、雑誌の締め切りでベースを2カ月触れなかったのだ、年齢のせいもある、とにかく言い訳が多い。だが皆、社業はexcuseなしでしっかり頑張っている、その辺はちょっと大目に見てあげてほしい。

メンバーは皆、「10-20代のころ、ロックバンドをやっていた」と豪語するものの、本当は高校や大学の文化祭でしか人前で演奏したことがないものが大半であった(笑)。しかし、バンマスのTAKUはかつてプロミュージシャンで、彼の指導の下、都内での練習や軽井沢や山中湖での合宿を続けた結果、その演奏技術は飛躍的に向上した(はずである)。当初は「集客力はあるが、演奏力はない」と揶揄する声もあったようだが、ここ1、2回のライブでは「意外にやるじゃん」「ここまでうまくなるとは」との声が増えてきたと思うのは幻聴であろうか。

XQ'sのテーマソングは、いわずと知れたEric ClaptonのChange the Worldである。これは、XQ'sの各メンバーが、本業を通じて、あるいは音楽を通じて、世の中をもっと良く変えたい、社会貢献したいと心から願っているからである。

メンバーの音楽的志向は、実は少しずつ違う。SHIGEはヘビメタ、MASAとKIYOIはハードロック、TAKUとTOSHIIはフュージョン系、SETHIはプログレ、サザンロック、フュージョン、ジャズ、Little Emmy、SAE、ERIIはジャズが本業などなど。選曲や練習で子どもじみた口論をすることも、確かにある(反省)。しかし音楽に対する情熱と、300人を前にステージを踏み「快感」はもはや捨て去ることはできない。おそらく、いつの日かメンバーやファンが爺さん婆さんになっても、XQ'sはステージに立ち続けるであろう。老眼や白髪になっても、シワシワになっても、人は人をROCKする(揺さぶる)ことができることは、ほかならぬClaptonやSir Michael Phillip Jaggerが証明している。

2009年、XQ'sはクエストホール以外の場所にも多数出没を計画している。詳細はホームページで順次、お伝えしよう。(文責・SETHI)

Bloom Quartet & Ensemble(ブルーム・カルテット & アンサンブル)

“Bloom”とは「花」「花盛り」「輝き」という意味を持ち、2007年に現役女子音大生によって結成された弦楽四重奏団である。クラシック音楽を普段聴かない聴衆向けのプログラムを中心に一般のクラシックコンサートとしてだけでなく、各種イベント、パーティーや披露宴などで、クラシック音楽をより身近に聴いてもらい、演奏者と聴衆の共感を第一の目標とした活動をしている。普段はコンサートホール以外の場での演奏を数多くこなし、聴き手とのふれあいを大切に活動を行っている。2008年、2009年8月に兵庫県朝来市主催ASAGO国際音楽祭に参加、2008年12月にブルーム・カルテット・東京リサイタルを成功させ、また原宿クエストホールにてスプートニク・インターナショナル主催チャリティーイベントPEACE QUEST 2008に出演する。2009年1月には押し花作家、庄村昌子押し花展でのコラボレーションや、2月にはBIG ISSUE 東京5周年記念パーティーでの演奏、4月にはデザイナー生花「トリアスフラワー」、オーガニック食材のレストラン「シナグロ」との「花、音、食」のクラ

ポレーションを成功させる。またHSBC(香港上海銀行)ロビー無料リサイタルのシリーズやその他様々な企業リサイタルイベントを企画・制作・出演する。2009年8月には宗次ホール主催、名古屋アンサンブルフェスタin 宗次ホールに出場。

弦楽四重奏団Bloom Quartet メンバーを中心に2009年9月に結成されたBloom Ensemble は弦楽器を中心に管楽器や鍵盤楽器のメンバーを入れた合奏団として設立され、2009年12月23日には弦楽メンバーのアンサンブル・ユニットBloom Quartet & Ensemble として東京文化会館でデビューコンサートを開催する。また同時にBloom Quartet & Bloom Ensemble は各種イベントに対応し様々なユニット編成を可能としたクラシック音楽では稀な室内楽団&合奏団である。

Le Velvets (ル・ヴェルベッツ)

滑らかで、柔らかく、上品な生地を意味する「Velvet」という言葉に由来している。

まさしく Le Velvets はその滑らかさ、上品さを基本に兼ね備えている、非常に繊細かつエンタテインメントに対してアグレッシブな集団。

彼らは全国の音楽大学からオーディションを経て集まった「テノール3人 バリトン2人」から構成されているヴォーカルグループである。

クラシックの素養と才能を持つ5人があらゆる音楽を自在に操る事で、前例のない「新しいエンタテインメント」を作り出し、センセーショナルなインパクトを与えていく事が「LeVelvets」の宿命。

◆収支報告

●収入の部

協賛金		¥840,000
チケット		¥298,000
オークション		¥95,200
売上	ぞうさんペーパー他	¥93,883
寄付		¥43,587
合計		¥1,370,670

●支出の部

音響・照明	会場使用費含む	¥231,000
仕入れ	物販(象さんペーパー+チョコレート)	¥16,000
運営・制作費・謝礼	運営及びチラシ・パンフレット他	¥150,000
飲食費(スタッフ弁当代)		¥32,500
雑費		¥14,278
郵送費		¥0
合計		¥443,778

総合計

収入 1,370,670 - 443,778 = ¥926,892

※上記は概算です。

今回のコンサートの収益金(¥926,892)は全てが上記、目的資金用途に使わせていただきます。

本当に皆様ありがとうございました。

今後とも、目に見える支援をモットーに、私達にできることを無理せず、笑顔で、前向きに進めていきたいと考えています。今後とも、一般社団法人 SPUTNIK International への応援、宜しくお願いいたします。

また、進捗などにつきましてはホームページに随時あげてまいりますので、時々ご覧いただければ幸いです。

今後とも宜しくお願い致します。

一般社団法人 SPUTNIK International 一同